

【全校研究テーマ】

授業力向上 ～個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実～

1.概要

高等部では、図1で示しているように「視覚支援」「ICT」「自立活動」「キャリア」の4つのテーマの中から「興味・関心のあるテーマ」についてのアンケートを行い、各グループが4～6名程度になるようにグループを設定した。その後、意見交換会や授業見学を通して教員間での対話や振り返りを行ったり、情報共有を行ったりした。1年めとなる今年度は、学年を跨がずに同学年でのグルーピングを設定し、授業の参観や意見交換を行いやすいように心掛けた。

テーマ希望アンケート				
学部() 学年() 名前()				
○今年度の全校研究(授業実践交流)でご自身が取り組んでみたいテーマを選んでください。 (○をつけてください)				
「個別最適な学びと協動的な学び」の一体的な充実をめざして				
テーマ	視覚支援	ICT活用	自立活動	キャリア
第1希望				
第2希望				
第3希望				
各学年の研究部までお願いします。				

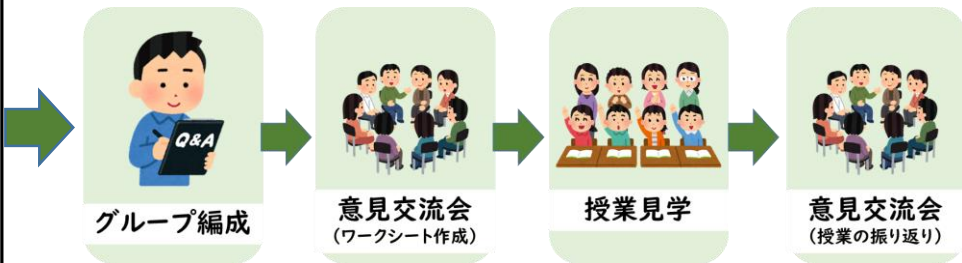


図1 高等部の研究の流れ

2.意見交流会の様子

【1回め】

1回めの意見交流会では、和気あいあいとした雰囲気で行うことができ、資料を見ながら授業の相談をするなど、授業相談会のように様々な意見やアイデアを出し合う場面が多くみられた。
また、「〇〇先生のこの授業を見学したい」といった話や、「授業に参加できていない学習班があるので、生徒の学習の様子を見たことがなかった。」「今回の授業見学を通して見たことのない班の授業を見ることができるのでよかった。」という意見もあった。
小集団で話し合うことにより、各自が授業で使用しているおすすめのICT機器の使い方や、アプリの情報交換をゆっくりと行うことができ、同学年でのグループ編成だったため、授業の様子を具体的に想像しながら話し合うことができた。

【2回め】

2回めの意見交流会では、お互いの授業を見合い、感じたことについての意見交換を行った。
授業者は、授業のねらいや工夫した点について改めて説明を行い、見学者は見学した感想や改善点、生徒の様子などを話し合った。
授業見学に参加していない教員も含めて話し合いを行い、お互いの話を聞いたうえで効果的な支援方法について意見交換を行ったり、新しいアイデアについて話したりと、有意義な時間を過ごすことができた。
しかし、教員体制や時間割の関係から実際に授業を見に行くのが難しい場面もあった、という意見も出ていた。

3. 意見交流会や授業見学、来年に向けてのアンケート結果

【意見交流会についての意見】

- ・資料を見ながら授業の相談をしたり、先生方が授業で使用しているおすすめのアプリやICT機器の使い方の情報交換を行ったりして、授業に関する様々な意見を出し合うことができた。
- ・日頃の授業の様子を具体的に想像しながら話し合うことができ、同学年だからこそ生徒の得意不得意がわかり、生徒に応じた支援や指導ができているかを考えることができた。
- ・意見交換を行うことで、効果的な支援方法や授業の展開を話し合うことができて授業の参考になった。

【授業見学についての意見】

- ・担任している生徒の学習グループでの様子を普段見たことがなかったため、今回の授業見学を通して、見ることでできない授業を見ることができてよかった。
- ・TTの一員として授業に入りながら授業見学を行ったが、授業のねらいや支援方法、工夫している点を意識しながら生徒の様子を見ることができた。

【来年度に向けて】

全校研究についてのアンケートを行った際、高等部から来年度に向けて出た意見は以下の通りである。
・自分の学年の授業見学だと、生徒の課題や様子も理解しているのでその支援が有効なのかをイメージしやすいが、他学部だとわかりにくいのではないかと。
・同学年の先生と班が同じだったことがよかった。同じグループの授業でも、生徒へのアプローチの仕方が違ったり、生徒の見せる表情も違ったり、いろいろ勉強になった。
・教員の体制や時間割の関係で実際に授業を見学することが難しかった。
・授業の様子を動画で撮影し、その動画を見る見学方法も良いと思う。
以上、実際の授業見学の難しさや、反対に同学年での班編成に対して、肯定的な意見も多かったが、アンケートの意見を参考しながら、学校全体の授業力向上にむけて、次年度は学年をまたいだ学部全体への交流を検討していきたい。